

2022年 三溪園

イベントスケジュール

全園完成 100周年

2022.7.1 現在

観蓮会

7月22日(金)～8月14日(日)の金・土・日曜日、祝日 午前7時～
泥の中から清らかな花を咲かせる蓮は俗世間から現れた優れた
人材に例えられることもあり、三溪園の創設者・原三溪は、徳の
高い花としてとりわけ蓮を愛好しました。
蓮の開花に合わせて朝7時から開園し、咲いたばかりの蓮の観賞や
お子様向けのイベントなどを実施します。



朝顔展

7月27日(水)～7月31日(日)

朝顔は、江戸時代に園芸ブームにのり、武士から庶民にいたる
まで、広くもてはやされ親しまれてきました。
直径20センチを超える大輪朝顔や、葉や花びらが変異した
珍しい変化朝顔など、約40点を日替わりで展示します。
共催：横浜朝顔会



横浜市指定有形文化財 鶴翔閣公開

8月13日(土)～8月21日(日)～午後4時45分

明治時代末に原三溪が自らの住まいとして建てた、横浜に残る
近代和風建築物。
三溪から支援を受けた横山大観などの芸術家たちが集い、創作
活動を行った部屋が今も残されています(平成12年整備完了)。
通常は文化的行事などに利用されている内部を期間限定で公開
します。

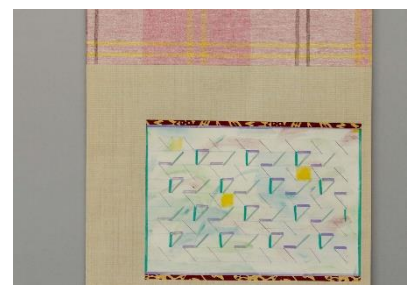


掛軸と絵画の未来展

— 美大生×表具師@三溪園 パトロネージュのかたち

8月13日(土)～8月21日(日)～午後4時45分

美大生の作品を表具師が掛軸に仕立てた作品と三溪が支援した
芸術家の作品の展示を通し、古くから親しまれてきた掛軸の
魅力を紹介します。
公開中の鶴翔閣と三溪記念館の2会場で開催。



全園完成 100 周年・重要文化財 臨春閣 令和の大修理完成記念 特別公開

9月17日(土)～9月25日(日)

4年間にわたる大修理の完成を記念し臨春閣の内部を特別公開。
建物内の各所に凝らされた数寄屋の意匠のほか、建物内からの庭園の景観もみどころです。



菊花展

10月26日(水)～11月23日(水・祝)

日本の秋を代表する菊花を約500点展示。
大菊や懸崖・小菊盆栽など、さまざまな種類の菊花の世界が楽しめます。特に江戸時代から各地で改良され伝えられてきた古典菊は、一見の価値があります。



紅葉の遊歩道開放

11月23日(水・祝)～12月11日(日)～午後4時00分

重要文化財・聴秋閣の奥にある溪谷遊歩道を紅葉の季節に合わせて限定公開します。

三溪園の中で最も紅葉の美しいエリアであり、遊歩道からは三重塔を遠望することができます。



紅葉のライトアップ

11月23日(水・祝)～12月11日(日)の金・土・日曜日、祝日

～午後8時(最終入園は7時30分)

色づく紅葉をライトアップし、紅葉と古建築が織りなす幻想的な風景を創出します。

